

宿題はかどる夏休みの寺子屋

2023.7.24~25

妙法寺で恒例の「夏休み寺子屋」は両日とも44人が夏休みの宿題を持って参加しました。6年生は「解らないところを友達に聞けるのがいい」「家でやるよりも、宿題がはかどる」「友だちとどこまで進んだか話しあえるので安心する」と寺子屋のよさを実感しているようです。楽しみはスタッフ手作りの昼食。1日目ジャージャー麺、2日目冷しゃぶうどん。おかわり続出でした。



寺子屋 in 妙法寺

毎回、元気に
集まる子どもたち

本読み・紙芝居に人気

この半年ほどで新しく寺子屋で始まったのは、「本読み聴いてね」（いわゆる読み聞かせ）の時間。キワニス会員の奥様らが、子ども達に絵本を読んであげたり、紙芝居をしてあげます。

例えば立春の2月4日(土)には、「なぜ、せつぶんには豆をまくの?」という紙芝居をしたところ、低学年の子ども達は興味津々で聞き入りました。

東日本大震災からちょうど12年目の3月11日(土)は、「いなむらの火」という紙芝居。丘の上の大事な刈り取った稲に火をつけて皆を丘の上に集め、津波から救った話で、子ども達全員が車座になって聞きました。

毎回、本を読んでくれている会員の奥様は子どもたちの様子について「毎回10人前後の子ども達が集まってくれますが、みんな目を輝かせて聞いてくれます。大きくなって夢を膨らませて、想像力豊かな大人になってほしい」と話しています。



寺子屋 in 妙法寺

コロナ禍が始まって3年目になるが、妙法寺(杉並区堀ノ内)での「寺子屋」は、土曜日に近隣の子どもたちが集まり、密を避けながら勉強に励む姿が定着しています。夏休みの平日に開催する寺子屋は特に参加者が多く、今年も盛況でした。普段の寺子屋も、毎月、誕生日のお祝いを始めたり、ランチのメニューを工夫したりするなど、どんどん進化し、子どもたちの笑顔が広がっています。(事業企画委員会)

夏休みの寺子屋 2022.7.25~26 別室を2部屋用意、密を避け宿題に集中

毎年恒例、「夏休みの寺子屋」は、普段と違って平日に開催。初日は快晴、2日目は強い雨でしたが、両日ともに60人ほどの子ども達が参加しました。コロナ禍を考慮して、密にならないよう、いつもの会場とは別に2部屋を用意、分かれて宿題に取り組みました。

漢字ドリルや計算ドリルなど学校の宿題、塾の宿題、読書感想文を書くための本を持参する子もいます。夏休みに入ってすぐに宿題に取り掛かるきっかけになるということで、保護者の期待も大きい催しです。仲良しの話し声が消えて、みんな集中します。進捗は集中度合いに比例、「大体終わったよ」「まだまだ残っている」と違いはあるが、勉強する習慣をつけるには効果があるようです。持参した勉強が終ると塗り絵、折り紙と、急に賑やかになります。

初日の昼食は「冷しゃぶうどん」。トッピングは豚肉、たまご、天かす、薬味。子ども達は何回もお代わり。食後はお寺の庭の休憩所で「かき氷」。夏空の下で、みな大喜びでした。

2日目の昼食は「冷し中華とポテト」。トッピングはキュウリ、ハム、たまご、トマト。食後は「ソフトクリーム券」を買って近くのお店で受け取りました。

両日とも近隣の立正高校の生徒が引率の先生とともにボランティアの勉強として参加しました。また小学生時代は寺子屋の常連だった中1の女子が今回は「お手伝い」としてやって来ました。「寺子屋は懐かしいが、中学校も楽しい」そうです。

寺子屋は近隣のNPOとの共催。集まったスタッフはのべ23名、東京キワニスからは初日に7名、2日目は4名の会員が参加しました。



毎月、誕生日の友だちをお祝い

5月から寺子屋に参加する子ども達の誕生会を開始しました。昼食の前に「ハッピーバースデーの音楽」で始まります。原則は月1回だが、子ども達の参加具合で複数回の月も。誕生会が出来なかった月は、翌月にまとめてお祝いします。最近「誕生会での写真付きバースデーカード」が用意され、子ども達は自慢げに皆に見せています。

祝ってもらった子どもの嬉しそうな顔を見て、お祝いする側も嬉しくなる。喜びを共有することにより、利他的な気持ちを養っていくことができます。



メニューを工夫 子どもたちに人気

昼食は子ども達の楽しみの1つ。毎回NPOの女性スタッフが交替でメニューを考え、自宅で下ごしらえをして妙法寺に持参、会場で11時ごろから料理を仕上げます。盛り付けはキワニス会員を含め男性スタッフも手伝って準備します。

食事のメニューは、バリエーションが豊富で、ボリュームのあるものが多い。サラダも定番です。最近は準備した分が完食という日が目立ちます。食後のスイーツは子どもが大好きです。共催のNPOのスタッフが別のイベントと重なって来られない時は、キワニス会員のがんばりが必要。最近は料理姿も様になっています。



寺子屋 in 妙法寺

2021年の12月4日(土)で「寺子屋in妙法寺」は100回を迎えました。当日は子ども達がケーキに100回記念のデコレーションをしたりして、スタッフと一緒に祝いしました。参加した33人の子ども達はお菓子などたくさんのお土産を受け取り、大喜びでした。

2017年12月に最初の寺子屋が開催されて4年間、毎月2回程度の頻度で実施してきました。

会場を提供して下さっている杉並・堀之内の妙法寺、子どもに人気の料理やケーキなどをいつも作ってくれるNPO法人すぎなみ子どもサポートのボランティアの方々、そして受付や後片付けにも力を出す東京キワニスクラブの会員、みんなの協力で続けることができています。

おかげさまで「第100回」
2021.12.4.



子ども達の未来が少しでも明るくなるよう、200回に向かって寺子屋を続けていきたいです。

お正月は恒例の書初め

2022.1.7.

1年で最初の寺子屋は恒例の「書き初め」。お正月のイベントとして2018年から毎年、続けています。今年(2022年)は1月7日に開催しました。

前日の降雪の影響で子ども達が来られるか心配しましたが、9時前から次々に到着し一安心。高学年(16人)は大広間で大きな半紙に「毛筆」で、低学年(16人)は机に向かって「硬筆」で、それぞれ習字をしました。今回もキワニス会員のご家族、友人が習字の指導に当たりました。

子ども達から「こんなに一生懸命文字を書いたことは初めて。」「上手くなっていることが実感できた。」「作品の中でどれが一番良いか家族に決めてもらう。」「満足そうなコメントがありました。

書き初めが終わった子どもから、美味しいお雑煮を食べ、お正月気分。帰りにはキワニス会員の紹介で株式会社不二家様からご提供いただいたミルクィー、カントリーマームなどお菓子がたくさん入ったバッグをお年玉代わりに受け取り大喜び。今年も楽しい書き初めとなりました。



春は6年生の卒業・進級、みんなでお祝い 2022.3.26.

3月は卒業・進級の季節。そこで初めて「卒業・進級お祝い会」を催しました。最初の1時間は、子ども達は勉強に集中、ボランティアのスタッフは食事の用意。壁には子ども達、スタッフ等関係者からのお祝いのメッセージが。

食事の前には小学校を卒業し、私立中学に進学が決まった2人の6年生女子がみんなの前で挨拶、そのしっかりとした話し方に大人も感心しました。2人からは「中学生の寺子屋をつかって欲しい」とのリクエスト。5年生以下の子ども達からは上級生とずっと仲良くなりたかったとの話も聞こえた。

食事のメニューは盛り沢山。多すぎたかなと心配したが概ね完食で、フードロスが発生せず。

「記念のケーキ」に卒業する子ども達が「卒業・進級」の文字をデコレーション。チョコレートの出が悪くて難しい作業となり、中学校の入試より難しかったとの感想。子ども達は食後にお土産をもらい、帰っていった。

この催しを通じて、学年を超えた子ども達の間結びつきの大切さを再認識。今後の寺子屋での「居場所作り・子ども達とのネットワーク作り」に生かしていきたいと強く感じました。



(事業企画委員会)

夏休み寺子屋

\夏の/ 寺子屋 in 妙法寺

8月2日(月)
3日(火)

10:00~

2日はやま荘!

夏休みの宿題を
3日はソフトクリーム!
スタートダッシュでがんばろう!

参加費
無料

飲み物
昼食つき



対象 小学生

内容 宿題・ドリル・読書など自由

場所 堀之内「妙法寺」

夏休みの宿題や自分でやりたい
学習材料を持ってきて下さい



HP

お申し込み方法

下記メールアドレスまでメールをお送りください。
お子様の氏名・学年などをお知らせください。

suginami_kosapo@yahoo.co.jp

お申し込み締め切り7月30日(金)



mail

電話でお申し込みの方

受付時間 9時~16時 03-3313-6241 妙法寺 望月・早坂まで



必ずマスクの着用を
お願い致します



フィジカルディスタンス確保のため
入室はお子様のみとさせていただきます。



当日遅くとも10:30
までにお願いします。



事前検温をお願い致します。
37.5度以上の方は参加できません。

共催：NPO 法人 マミナみ子どもサポート・一般社団法人 東京キワノスクラブ / 協賛：堀之内妙法寺

子どもたちの「居場所」として普段は土曜日
に東京・杉並で開催している「寺子屋in妙法
寺」を、夏休みは平日に2日間実施しました。
今年はコロナの影響で小学校の夏休みのス
タートが遅かったため、8月開催に。兄弟そ
ろって、仲良しの同級生と一緒になど、両日とも
20人近い小学生がそれぞれ夏休みの宿題を
持って集まりました。

漢字や計算ドリルに取り組んだり、感想文
を書く読書をしたり。中には遠くに転校してい
った友だちに暑中見舞いのはがきを書く生徒も。

—昨年までは工作や紙飛行機やゲームなど遊びの時間もあつた
が、昨年はコロナで寺子屋そのものが中止に。今年は万全の感染対
策をとって勉強に集中する形となりました。(事業企画委員会)



寺子屋 in 妙法寺

メニューは 「豚しゃぶうどん」や「焼きそば」など

子どもたちの一番の楽しみは、みんなで一緒に
食べるランチ。つくるのは地元NPOメンバーであ
るお母さんたち。初日は「豚しゃぶうどん」、2日目
は「焼きそば」にたこ焼き、トウモロコシなどを添
えたメニューでした。コロナの影響もあってお寺の
厨房での煮炊きを避け、自宅で下ごしらえをした

料理を持ち込み、
会場のホットプレ
ートなどで仕上げ
ています。食後には
子どもたちの大
好きなかき氷を今
年も用意。お土産
代わりに近所のカ
フェのソフトク
リーム無料券も配
られました。



地域に広がる支援の輪 地元高校生も参加

この寺子屋は、ひとり親や共稼ぎの親の子どもたちが一緒に
勉強し、食事をする「居場所」として2017年12月にスタート。
いまは東京キワノスクラブとNPO法人すぎなみ子どもサポ
ートが共催、会場の堀之内・妙法寺の全面協力を得て実施してい
ます。

子ども支援の輪は
地域での広がりを見
せており、7月の土
曜日の寺子屋には同
じ杉並区内にある私
立東京立正高等学校
の生徒がボランティア
として参加しました。
小学生と年齢も近い
ことから、自然に子
どものやる気を引き
出す。例えば計算ド
リルに取り組む児童
の横に座って、1ペ
ージを何分ででき
るかスマホで時間を
測るなど高校生らしい
指導をしてくれま
す。

別の日にはお寺の近くに住
み、幼稚園で教えているフ
ランス女性が寺子屋のこ
とを聞きつけ、飛び入
りボランティアとして
参加。日本語も堪能で
「とっても楽しかった」と、
その後も顔を出してく
れています。



お正月は書初めに挑戦

2021.1.5



寺子屋 in 妙法寺

年初の「寺子屋」は恒例の「書初めの会」を開催しました。

参加児童は小学校1-2年生9人(硬筆)、3-6年生22人(毛筆)の31人でした。コロナ対応として48畳と80畳の大きな2部屋を使い、距離を空けて、安全に取り組みました。

恒例の雑煮などの昼食は取りやめ、弁当とお菓子等を持ち帰りました。

この他子ども達には、門前のCaféのソフトクリーム券と地元の方が作った柚子のジャムが配られました。



「密」を避けて 自主勉強

妙法寺での寺子屋は1月3回、2月3回、3月は2回を実施しました。毎回20名程度の子も達が参加し、NPO法人杉並子どもサポートと東京キワニスクラブを中心に毎回5名程度のスタッフで運営しています。コロナ対策として、メール、電話による事前予約、家庭での事前の検温、マスクの着用、開始時間を1時間遅らせ10時から実施、勉強機の消毒と段ボール板による飛沫防止、受付時の手指消毒と検温を徹底しています。

子ども達は「密」にならないように注意しながら宿題、ドリル、その他の課題を持参して自主的に勉強。課題が終わるとお絵描き、剣玉、あや取りなどが始まります。子ども達はコロナに関係なく楽しんでいるが、この時間帯は密にならないようにするのはなかなか難しい。昼食は従来、キッチンで調理して提供していたが、コロナ対策として料理なしに提供できるよう、お弁当、レトルト、お惣菜、カップみそ汁/スープなどを活用していますが、メニューのバリエーションが少ないのが悩みの種です。

(事業企画委員会)



② 寺子屋参加の小学生に「お弁当」配布、延べ300食

杉並・妙法寺で

2020年5/16、5/23、5/30(いずれも土曜日)

東京・杉並区の妙法寺で月に数回、開催してきた「寺子屋」と呼ぶ食事つきの土曜学習会。近隣の小学生が毎回、楽しみに通って来ていましたが、新型コロナの影響で中止を余儀なくされました。

そこで妙法寺、地元のNPO法人すぎなみ子どもサポートと協力して「寺子屋弁当」の配布を始めました。5月16日、23日、30日の3回(いずれも土曜日)、これまで寺子屋に参加していた小学生を中心に予約制でお寺に取りに来てもらいました。キワニス会員が提供したお菓子や、お寺が用意したジュースもついていて、1食100円とあって人気を呼び、3回で延べ300食近くを配ることができました。



令和初、書初めにチャレンジ

1月5日(日)堀之内妙法寺にて書初めを実施。天気にも恵まれ、22名の児童が参加し書初めに挑戦。会員やその関係者そして学生ボランティア計37名の指導・協力もあり、みんな楽しく書初めを終わりました。終了後はお寺が用意していただいたお雑煮を美味しくいただき、新年の清々しさを感じながら解散しました。(事業企画委員会)



2月に入り、朝方は冷えたが快晴で穏やかな日で、子供たちの出足も早く9時過ぎにはほぼ揃っていました。宿題をする児童やパズルに熱中する児童などそれぞれ楽しいひと時を過ごしました。お昼のドライカレーは好評でお替わりをする児童も多く、食後もお友達と遊び足らず残る子供たちもいました。

寺子屋in妙法寺



美味しい笑顔に
暑さも吹っ飛ばす



「夏休み宿題スタートダッシュ寺子屋」 寺子屋 in杉並・妙法寺 2019.7.25,26,27



今年も、のべ115名もの子ども達が集まりました。勉強のあとは、「紙飛行機大会」や「そうめん流し」で大はしゃぎ。3日間全て参加の子ども達には「東京オリンピックのピンバッジ」を進呈。貰った子は大喜びでした。夏休みの宿題がだいたい終わったという強者もいて、スタッフはびっくり。(事業企画委員会)

●子ども食堂…「子どもの居場所作り・皆と一緒に食事を」をテーマに、
春夏年2回実施しています。

●寺子屋…子ども達の「居場所」作りとして、ほぼ毎週土曜午前中に
「寺子屋」を開催しています。

2017年12月から始まった「寺子屋in妙法寺」は1年間を経過し、参加する児童の数も毎回20名程になりました。

12月1日(土)は寺子屋の後に「津軽三味線と日本の唄」の会を開催し「寺子屋」参加の子どもたちに加え、地元の皆様も多数集まりました。第一部は「日本の唄」で、その後は津軽三味線・日本一の山下靖喬さんが登場。津軽三味線でジャズやロックやアニメ曲まで演奏し、その迫力に子ども達も驚いていました。

また1月4日(金)は「書初め」を開催しました。参加した児童は17名。「講師」「スタッフ」は、妙法寺の方々、ボランティアの学生、地域のボランティア、大学の先生、東京キワニスの会員等と様々で寺子屋としてのネットワークが広がっています。

中には初めて毛筆を体験する児童もおりましたが、講師が丁寧に指導し、書く毎に進歩して、その上達ぶりに皆で目を見張りました。また、昼食は「お雑煮」で食欲旺盛で何杯もお代わりする児童が沢山いました。

寺子屋in妙法寺



夏休みの寺子屋in妙法寺 2018.7.23-25

「夏休み寺子屋 in 妙法寺」は学校の夏休みが開始した7/23(月)、24(火)、25(水)の3日間に開催されました。「比較的涼しい午前中に勉強する。」「夏休みの宿題を早めに片付ける。」という規則正しい生活リズムで夏休みを過ごすようにとの思いからです。

通常は多くとも25名ほどの子供達ですが、今回は連日、60名を超える児童が参加。当期間は大学では試験、講義があり、学生ボランティアの方々が参加できず、地域の方々、キワニス関係者も平日のため、参加者が少なく、大忙しの毎日でした。

子ども達の勉強は夏休みの宿題、通信講座のテキスト

ト、市販のドリルと様々。答え合わせを要求する子どもも。何人かのお母さんが子どもたちの中に入って面倒を見ていただきました。熱中症にならないように十分な水分補給は重要です。子ども達は何種類かのジュースを混ぜて楽しんでいました。

昼食は子ども達の楽しみの一つ。「焼きそば」「そめん流し」「バーベキュー」がメインメニューで、人気の「かき氷」を毎日提供、子ども達は大喜び。

大変忙しい夏休みの寺子屋でしたが、楽しい夏休みを過ごして、成長した子ども達に、9/1(土)の寺子屋で会えることが楽しみです。

(事業企画委員会副委員長 雲類 孝)



てらこや

「寺子屋」

in

みょうほうじ

妙法寺

お寺に
学習スペース
できました。



…今後の予定…

9月1日(土) 22日(土) 29日(土)
10月6日(土) 27日(土)



対象：小学生 時間：9時～12時半
内容：宿題・ドリル・読書等自由に漢字検定コースを併設
場所：堀之内「妙法寺」
その他：無料
飲み物・昼食付

昼食は何が出るか
お楽しみに♪

主催 妙法寺子ども会実行委員会 一般社団法人東京キワニスクラブ
申込み：妙法寺・事務所（山門を入れて右手の建物） お問い合わせ：03-3313-6241 望月、藤原
各児童館（松ノ木・堀ノ内東・堀ノ内南）にも申込み受付箱が置いてあります

てらこや

「寺子屋」

in

みょうほうじ

妙法寺

お寺に
学習スペース
できました。



…今後の予定…

11月10日(土) 24日(土)
12月1日(土) 15日(土)

演奏会 12月1日(土)13時～14時半
「津軽三味線と日本の唄」（無料）



対象：小学生 時間：9時～12時半
内容：宿題・ドリル・読書等自由に漢字検定コースを併設
場所：堀之内「妙法寺」
その他：無料
飲み物・昼食付

昼食は何が出るか
お楽しみに♪

主催 妙法寺子ども会実行委員会 一般社団法人東京キワニスクラブ
申込み：妙法寺・事務所（山門を入れて右手の建物） お問い合わせ：03-3313-6241 望月、藤原
各児童館（松ノ木・堀ノ内東・堀ノ内南）にも申込み受付箱が置いてあります

寺子屋 in 妙法寺 2018/2月-5月の模様

「寺子屋 in 妙法寺」の模様です。2月から5月の間、2月は2回、3月は2回、年度が変わって4月は3回、5月は2回開催いたしました。参加児童の数は2月-3月が平均9.5名、4月-5月は平均13名と増加の傾向です。当初は女子児童が大半でしたが、徐々に男子児童が増えてきて、1/3程度が男子児童となりました。

寺子屋での学習状況を見てみると、開始から1時間程度は集中して勉強していますが、それを過ぎると遊びだす児童が出て来ました。そこで集中が切れてきた時間に、パズル、ゲーム等を導入し、気分を変え、その後、学習に戻るという方法を実施しています。(パズル、ゲーム等は東京キワニス会員の方々にご自宅にあったものをご提供いただきました。)

また、3名から8名程度のボランティアの学生さんに参加いただき、児童の勉強を支援していただいております。仲良く、楽しそうに勉強している児童の姿が印象的です。

地域の方々に作っていただいているアイデアたっぷりの昼食も児童の楽しみの一つです。最近では料理のお手伝いをする児童も増えてきました。

7月下旬から夏休みが始まります。23日(月)、24日(火)、25日(水)の3日間に夏休みの宿題、自分の好きな勉強等をおこない、規則正しい生活習慣を身に付けることで夏休みを有意義に過ごすことが出来るように寺子屋を実施する予定です。また、子ども達が喜ぶイベントも企画しています。

(事業企画副委員長 雲類 鷲 孝)



夏の 寺子屋 in 妙法寺

7月の夏休みは...
23日(月) 24日(火) 25日(水)
9:00~12:00
なるべく事前申し込みのうえ、9時までに来てください
お昼は「涼しそめん」「鉄板焼き」「かき氷」

**お寺に
学習スペース
できました。**

対象：小学生
内容：読書・ドリル・読書等自由に
漢字検定コースを併設
場所：境内内「妙法寺」
参加費：無料
飲み物・昼食付

お昼は
お楽しみに♪

夏休みの宿題や自分でやりたい
学習材料を持って来て下さい。
本やパズル・漢字検定問題集は
お寺に有ります

<主催> 妙法寺子ども教育実行委員会 一般社団法人東京キワニスクラブ <後援> 妙法寺社会福祉協議会
<協賛> 妙法寺 <ボランティア協力> 東京法正短期大学 駒沢大学 駒沢短期大学

申込み：妙法寺・事務所(山門を入って右手の建物) お問い合わせ：05-3513-6241 望月、藤原
各児童館(船/米/堀ノ内/東ノ内)にも申込み受付協賛が置いてあります

妙法寺子ども教育実行委員会 宛て 寺子屋 in 妙法寺 申し込み書

参加日に○をつけてください 23日(月) 24日(火) 25日(水)

名前 _____
住所(〒) _____
学校名 _____ 学年: Ⅰ _____
連絡先(保護者電話番号) _____

是非ご参加ください

2018 キワニスドール・フェスティバル

日時：2018年7月21日(土) 14:00~(受付 13:30~)

場所：株式会社パノナグループ 会議室
千代田区大手町2-6-2 パノナグループ JOB HUB SQUARE

プログラム：第1部 トークセッション「ドールで結ぶものがたり」
亀田総合病院 聖路加国際病院
第2部 キワニスドールづくり体験(終了後に交流会があります)

定員：150名
参加費：無料
その他：参加者名を6月30日までに東京キワニスクラブ事務局宛
お申込ください

パノナグループ
JOB HUB SQUARE (最寄り)

アクセス
JR 東京駅 日本橋口
東京メトロ大手町駅 B8a 出口
東京メトロ日本橋駅 A1 出口

キワニスクラブとは？
世界三大国際車社連体の一つとして1915年にテトロ川で設立され、未だを絶つ子ども達のための活動をしていませ。
「キワニス」は、テトロ川周辺の住居の言葉「皆一緒に暮らす(NUN-Kee-Wan-Is)」に由来しています。

主催：一般社団法人東京キワニスクラブ **Kiwanis**
協賛：株式会社パノナグループ
サッポロホールディングス株式会社
お問い合わせ：東京キワニスクラブ事務局 03-5256-4567
tokyokiwanis@japankiwanis.or.jp

こちらも ご参加ください

寺子屋in妙法寺に参加して 2017.12.2

12月2日（土）晴れ渡った朝、少し寒かったのですが、身の引き締まる思いで妙法寺に到着しました。子ども達が来てくれるだろうか、喜んでもらえるであろうか、期待半分、不安半分でした。まずは、楽しんでもらえることを願って、寺子屋に参加しました。「寺子屋 in 妙法寺」は土曜日の午前中、地域の小学生が宿題やドリルをやったり本を読んだり、自由に過ごす「居場所」です。お昼に軽食を出します。大人は極力手を出さず、質問があれば答え、あとは一生徒になって一緒に自由に勉強するものです。

第1回の12月2日は7人の児童が参加し、一安心でした。その他、地域ボランティア3名、学生ボランティア4名、キワニス会員8名が参加しました。

児童は各自、勉強道具を持参し、思い思いの勉強を始めました。分からないところは、各テーブルについた学生ボランティアが担当、キワニス会員も漢字検定の勉強を実施し、和やかな雰囲気です。寺子屋は進められました。その間、キワニスのカメラ部が写真を撮影。その写真はプレゼントされ、児童は大喜びでした。お昼はオムライスとスープ。素材のチキンライスは企業の災害用の備蓄を提供してもらったものです。



チキンライスに卵を焼いてオムライスにしてグレードアップ。料理はキワニス会員が大奮闘でした。

始まる前の不安は不要でした。参加した児童の楽しそうな様子、関係された方々のご協力により、第1回目の寺子屋は無事終わりました。

なお、恒例の「子ども食堂 in 妙法寺」は3月27日（火）を予定しています。

（事業企画副委員長 雲類鷲孝）

寺子屋in妙法寺(新年 書初め) 2018.1.5

12月から再開した「寺子屋 in 妙法寺」。2日（土）、16日（土）、23日（祝）と12月に3回実施し、



参加した児童の数は、7名、5名、12名と徐々に地域に浸透してきた様子です。

1月最初の「寺子屋in妙法寺」を1月5日（金）に開催しました。新しい年に向けてまた冬休みの宿題もあろうかと、「書初め」が実施されました。参加した児童は、地域の児童、養護学校の児童で24名。前回までよりも男子の割合が増えました。書初めということで、鈴木祐二会員の姪御さん、狩野省市会員の奥様、ご友人、ボランティアの学生さんが指導役として参加してくださいました。

低学年の児童が多く、最初は「硬筆習字」から、徐々に「毛筆習字」に。当初は不慣れなためか、バラ

スがうまく取れない様子であったが、集中して練習、指導した結果、本人も驚くほどに進歩し、満足げな児童の顔が印象的でした。

昼食は「お雑煮」。お寺で用意していただいた、醤油仕立てで鶏肉、鳴門巻き、菜っ葉の入ったお雑煮。お餅を焼いて、盛り付けを担当したのは、お寺の方、地域の方、ボランティアの学生さん、キワニス会員。お寺で用意された「寿、犬の絵の杯」に甘酒を入れ

て乾杯し、児童とお迎えに来た保護者と一緒にいただきました。食欲旺盛で何杯もお代わりする児童も多かったです。

「寺子屋 in 妙法寺」に参加している児童からの「毎回、楽しみにしている」「また、来ます」の言葉が何よりもうれしい寺子屋でした。

（事業企画副委員長 雲類鷲孝）